

2024年1月22日
三菱オートリース株式会社

「モビリティの潮流を読む! 2023～”人とモノの移動”に新たな価値を乗せていく～」 における CO2 排出量を実質ゼロに

三菱オートリース株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：中野 智）は、2023年9月1日（金）に THE GRAND HALL（東京都港区）にて開催したイベント「モビリティの潮流を読む! 2023～”人とモノの移動”に新たな価値を乗せていく～」において排出された CO2 をカーボン・クレジット※1によりオフセットいたしましたので、お知らせいたします。

■ 取り組み内容

当社は経営理念「“人とモノの移動”に新たな価値を乗せていく」の下、モビリティサービス事業を通じて、持続可能な社会の実現にこれまで以上に貢献することをめざしております。2023年7月に特定した当社マテリアリティ（当社が優先して取り組む重要課題）にも“地球環境に対する真摯な取り組み”を掲げており、その一環としてイベント開催で排出された CO2 のオフセットを実施いたしました。

イベント会場（THE GRAND HALL、東京都港区港南 2-16-4、品川グランドセントラルタワー3階）での電力使用量、主催者・ご参加者、計 673 名の来場時の移動に伴うエネルギー使用量※2より、イベント開催中の CO2 排出量は約 3 トンと算出しました。

これを“家庭における電気自動車の導入による CO2 排出削減プロジェクト”により創出された J-クレジット※3 を活用し、オフセットいたしました。

この取り組みによりオフセットされた CO2 排出量は、樹齢 36 年～40 年の杉の木約 340 本分の年間 CO2 吸収量に相当します。※4

■ サステナビリティへの取り組み

当社は、気候変動への対応は急務と考えており、脱炭素社会実現は当社が責任をもって解決すべき優先課題と認識しております。当社は 2009 年より電動車※5 リース事業に参入するほか、お客様の社有車台数最適化、エコドライブの推奨、メンテナンスリース促進等を通じ、脱炭素社会への対応を加速しております。今回のイベント開催においても、カーボン・オフセットに電気自動車由来の J-クレジットを活用することで、電気自動車の付加価値や可能性の訴求と更なる普及に繋がりたいと考えています。当社は、今後も事業を通じて持続可能な社会の実現をめざします。

■ イベント概要

名称：モビリティの潮流を読む! 2023～”人とモノの移動”に新たな価値を乗せていく～

主催：三菱オートリース株式会社

開催日程：2023年9月1日（金）

開催場所：THE GRAND HALL、東京都港区港南 2-16-4、品川グランドセントラルタワー3階

イベント概要：自動車業界を中心とするプレーヤーが集結し、将来のモビリティ市場の展望とビジネス機会創出のヒントについて講演や展示、パネルディスカッションを実施

【イベントレポート】

イベントレポートはこちらから[ダウンロード](#)いただけます。

- ※1 カーボン・クレジットとは森林の保護や植林、省エネ技術や再生可能エネルギーの導入などを行うことで生まれたCO2などの温室効果ガスの削減効果（削減量、吸収量）をクレジットとして発行し、企業間などで取引できるようにしたもの
- ※2 CO2などの温室効果ガスの排出量算定には、環境省策定の「[温室効果ガスの排出量の算定・報告・公表制度](#)」で定められた排出係数を使用し、当社にて算出
- ※3 省エネルギー機器の導入や森林経営などの取組によるCO2などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証したもの。今回は、カーボン・クレジット取引専門企業 Ex Road 社を通じてクレジット購入、無効化を実施
- ※4 杉の木1本の年間CO2吸収量は[林野庁](#)の情報をもとに算出
- ※5 EV,PHV,FCV

■三菱オートリース 会社概要

三菱オートリースは自動車に係るリース、メンテナンス等の総合ソリューションサービスを展開しています。更に昨今では、EVを始めとする電動車の導入によるお客さまの脱炭素・カーボンニュートラルへの取り組みをサポートするEVソリューションを展開しています。

◇本社：東京都港区芝五丁目34番7号 田町センタービル

◇事業内容：自動車に係るリース、メンテナンス等の総合ソリューションサービス業

■お客様お問い合わせ先

ホームページ：[お問い合わせ先](#)

■報道機関お問い合わせ先

三菱オートリース株式会社 経営企画部 広報担当：大友

ホームページ：[お問い合わせ先](#)

E-mail：keiki@mitsubishi-autolease.com

以上